



奨学金特集！自分にぴったりの制度を探そう！

進学するにあたって十分チェックする必要があるのは、家庭の経済状況と進学に伴う支出のバランスです。現実的に考えると容易に解決する問題ではありませんが、注目したいのが奨学金の制度です。進学資金が不足している時、はじめに検討したいのが各種奨学金の活用です。最近はその種類も豊富になり、利用者も急増しています。

日本学生支援機構の調査によれば、現役学生のうち、専門学校生で23.4%、大学生で30.0%、短期大学生で29.0%の受給率となっており、この数値に奨学金への関心の高さが現れています。

～ 奨学金の種類について ～

- (1) 日本学生支援機構
- (2) 地方自治体
- (3) 民間育英団体
- (4) 企業
- (5) 新聞社
- (6) 協会等の修学資金
- (7) 学校独自
- (8) 家計急変者対応(型)奨学金

(1) 日本学生支援機構(月額)について 〔第一種奨学金(無利息)〕

区分		自宅	自宅外
大学	国・公立	¥45,000	¥51,000
	私立	¥54,000	¥64,000
短大 専門	国・公立	¥45,000	¥51,000
	私立	¥53,000	¥60,000
大学院	修士課程	¥88,000	
	博士課程	¥122,000	

〔第二種奨学金(利息有)〕

区分	貸与月額(自由選択)
大学・短大・専門	3万・5万・8万・10万・12万から選択

(2) 地方自治体の奨学金について

都道府県や市町村が設けている奨学金制度で、ほとんどがその地方自治体の住民であること等が条件となります。中には日本学生支援機構との併用を認めていない自治体もありますから注意が必要です。

■主な新聞奨学金制度と給与(貸与)金額例

- 毎日育英会 福岡事務局 0120-198-151
→ 月10万円
- 朝日奨学会 福岡事務局 092-477-6017
→ 月9.5万円
- 日本経済新聞西部育英奨学会 0120-45-0020
→ 月9.3万円

※地域・労働条件等により金額は変わります。詳しくは、各新聞奨学会へ確認してください。

新聞奨学生について

新聞社で新聞の配達やチラシ折り込み等の労働をする一方で、奨学金はもちろん、住居や給与、食事等を提供してもらえる制度です。親から仕送りしてもらわずに、この制度での収入だけで学生生活を送る人も多いようです。ある新聞奨学制度では、奨学金を4年間で400万円(東海地区)受給できるほか、月額9万円前後の給料や半年ごとに賞与もあります。



特定学科履修者に対する修学資金

最も普及しているのが看護師養成学科を対象とした、都道府県の看護師等修学資金で、卒業後、自治体内の医療施設で看護職として就職を希望する人が対象となります。卒業して、看護師となった後、規定の勤務先で指定された勤務年数を勤務することで、返還が免除されるところもあります。

☆☆ チャレンジ！！ビジネスマナー ☆☆☆

Sさんは、上司から取引先の部長に電話をつなぐように言われ、取引先へ電話した。少し間があつて相手が出たが、上司は別の取引先から入った電話に出てしまい、大事な商談をしている。このような場合、Sさんはどのように対処すべきか。(1)～(5)のうちもっとも適当なものを1つ選びなさい。

- (1) 先方に事情を話して丁重におわびをし、「少々お待ちいただけませんか」と言う。
- (2) 先方に事情を話して丁重におわびをし、改めてこちらからかけ直すことを伝える。
- (3) 先方に事情を話して丁重におわびをし、10分程してから電話をしてくれるように頼む。
- (4) こちらからかけた電話なので、上司にメモで相手が出ている事を知らせ、電話に出てもらう。
- (5) 先方に事情を話して丁重におわびをし、上司の電話が終わるまで待ってもらう。

※答えはこのページの下

センター試験出願書類発送完了！～センター試験まであと72日～

10月1日から14日が、大学入試センター試験出願受付期間でした。現役生(高校等卒業見込者)は、在学期で一括して出願します。今年の本校センター試験受験予定者は29名。10月5日に出願書類の発送を済ませました。今後、出願内容確認ハガキが11月上旬、受験票が12月中旬までに到着する予定です。本番は1月14日(土)・15日(日)の2日間にわたって行われます。

センター試験は、全国の高校3年生の約40%、約55万人が受験する、大学進学希望者にとっては最大の関門です。本校はAO・推薦受験者が多く、年内には多くの進学決定者が出ることが予想されますが、大学教育に耐えうる学力の習得と維持のため、スポーツ健康科学系列で受験を希望している2人と、アカデミア系列の生徒は必ずセンター試験を受験する事になっています。

暑かった夏も過ぎ去り、秋も本番、受験勉強も追い込みです。秋から冬にかけて力を蓄え、春には見事な花を咲かすことができるように頑張ってください！！



～就職氷河期に負けるな！～

就職採用試験状況



就職試験が9月16日からスタートし、内定も順調に出始めていますが、今年はバブル経済崩壊後の90年代後半以来の『就職氷河期』の再来といわれていた昨年にも増して深刻な状況です。東日本大震災の影響による採用計画の見直しや、円高による採用抑制等、本校生にとっても例年になく厳しい状況です。実感としての景気や倒産・失業数の動向においては改善傾向もみられますが、全国的に新卒求人状況が悪化しており、本校でも7月1日から現在までに受け付けた求人票は340件(県内116件、県外224件。)、昨年(県内91件、県外289件。)と比べて1割程度減少しています。しかし、不況下でも『優秀な人材』を求めて高い求人意欲を持ち、堅実に業績を伸ばす企業は多くあります。これからも試験が続く就職希望者は、10月1日から複数社への応募も可能になっています。「働きたい」という強い意志を持って、内定を勝ち取ってほしいと思います。

チャレンジ！！ビジネスマナー の答え

正答は(2)。(1)と(5)は相手を待たせるため不適切。(3)は相手に向け直させるというのは非常識。(4)の大事な商談が始まっているのを中断させる事も適切ではない。こちらから再度かけ直すというのが、電話対応の正しいマナーである。